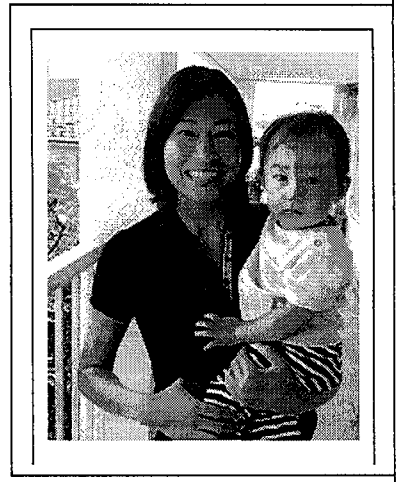


くさか 久坂くにえ通信

昭和 48 年 2 月生まれ 0 型 聖心女子大学文学部英文学科卒業

議会運営委員会所属、文教常任委員会委員長、

関東若手市議会議員の会・神奈川ブロック会長 新・かまくら民主の会所属



第39号2010年2月

平成の大合併の余波とは？

平成の大合併により、平成 11 年には 3、232 個あった市町村が今年度末には 1、730 となる予定です。地方分権の推進、少子高齢化への対応として、行財政基盤の強化のために一定規模の基礎自治体を新たに編成することが目的とされました。

合併にともない、当然地方議会議員も激減し、地方議員年金の行く末について現在議論が高まっています。現役地方議員が大幅に減少したため現行の制度維持は明らかに難しく、公費に頼る部分が大きくなっており、国会議員と同様に廃止すべきではという意見も出てきています。私自身としては、年金は廃止すべきとも考えていますが、同時に一時的に休職して立候補できる制度や、退職手当のような制度を構築しなくては、一般企業に勤めている方が辞職して立候補を検討することはむずかしいと感じていますし、年金の改廃のみを論ずるのではなく、多方面からこの課題を捕らえるべきです。

■ ivote 私は投票する！？

昨年の衆議院議員選挙で、20 代の投票率向上 ivote プロジェクトがマスコミで取り上げられていましたが、ご存知でしょうか。

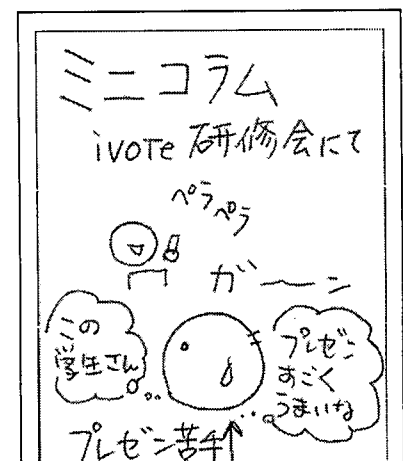
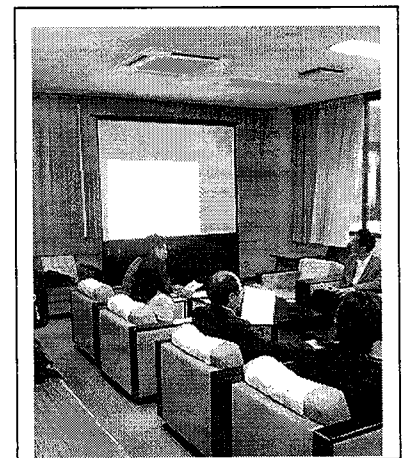
このプロジェクトは ivote という学生団体によって運営されており、渋谷などで選挙を「夏政(まつり)」と称したチラシを配布したり、HP で投票すると宣言した方の登録など投票率向上の活動を行ってきました。

しかしながら、HP での登録数は 1181 名。また夏の選挙も 20 代投票率は上昇傾向といいながらも 50% 程度に留まっています。

かたや、たとえば 60 代の投票率は 80% 台と非常に高いものとなっており、投票を気にする政治家にとって見過ごすことのできない数字です。

こういった投票傾向は確実に政策内容に影響を与えており、「若者は投票に行かないせいで 4,000 万円も損している」という新書にその内容が詳しく、20、30代は投票にいかないせいで、各政党は配慮の低い政策を展開し、結果若者は一生で 4,000 万円損すると指摘しています。先日この ivote 代表の学生の方を招いて研修会を開催しました。政治や投票など生活に直結する事に関心を持ってもらうにはやはり教育が必要と力説しています。特に現役世代の方がこの社会の中で担う役割は大きいもの。その行く末を決定する選挙は重要です。

(右側は研修会時の写真)



■ 持続可能性の高い街

経済発展と環境保全を両立させたサステナブル（持続可能）都市はどこか―。日本経済新聞社産業地域研究所が全国の市区を対象に環境保全度、経済豊かさ度、社会安定度の3つの側面から都市のサステナブル度を探る調査を実施し、鎌倉市が前回調査時の47位から4位に浮上しました。

財政面で恵まれた自治体が積極的な環境保全で評価される中、鎌倉市は地域として地球温暖化対策に取り組んだことなどが評価されたということで、市役所の壁に這わせたゴーヤカーテンなどの取り組みを思い出す方もいるのではないのでしょうか。

しかし、事実上の持続可能性はこれから国・自治体どちらにも問われるもの。厳しい財政状況の中から捻出した財政をどの分野に投入して持続可能性の高い政策を展開し、最大限の効果を得るのか。

地方自治体が経験するかつてないほどの冬の時代。非常にシビアな舵取りが必要となります。

ミニコラム
議場の席がわかりました

① 最前列から2列目へ
市長側 | 部長側
議員側 | 議長
ココへ | 11番!!

発言の際、名前ではなく
議席番号をいいます

② 圧迫感がちがいます
-以前- | 目の前に市長席
市長 | 市長席
.....

こうなると学校での席と一緒
ですわ...後ろがいい

■ タイトルは「嵐の中のこどもたち」

所属しているNPO ゆうらいふでは、毎年クリスマスに劇団四季のチャリティ公演を開催しています。今年は県民ホールでの開催で、多くの皆様のご来場いただきました。ご来場いただいた皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。(右:開場時の写真です)



■ 2月定例会は今月17日からスタート

次年度の予算委員会などが開催される2月定例会は17日に開会が予定されています。また、旧年中は選挙続きの落ち着かない日々が続く一年でした。今年はじっくり腰を落ち着けて、活動していきたいと思えます。本年も皆様のご意見をお待ちしております。どうぞよろしく願い申し上げます。

なんでも募集しています!

久坂くにえを応援して下さる方
この通信の配布などお手伝い下さる方
サポーターを随時募集しています。
お気軽にご連絡ください!
久坂くにえサポーターズクラブ
〒247-0056 鎌倉市大船 2-10-25-302
TEL/FAX 0467-47-1905
メール:mail@kkusaka.net
HP: http://www.kkusaka.net